

## 2018/2019 スピードスケートジュニア国際競技会派遣選手選考基準

### 【決定の方法】

国際競技会への派遣選手選考は、以下の基準に基づき、強化委員会が推薦し、選考委員会又は理事会で承認することによって決定する。

### 【派遣選手団の編成方針】

1. 日本代表として十分な活躍が期待される選手の中から選考する。
2. 日本代表として十分な活躍が期待できる種目を優先的に選考する。
3. 行動規範を遵守し、活力ある日本スケート連盟を代表するに相応しい選手・役員をもって編成する。

### 【出場に関する制限】

各国際競技会の参加標準記録における対象競技会は、2017年7月1日以降に開催されたすべてのISUメンバーに参加資格が与えられている国際競技会（ISU ルール第 107 条 4 項に従う）、全日本スピードスケート距離別選手権大会、全日本スピードスケート選手権大会、全日本スプリントスピードスケート選手権大会、平昌オリンピックスピードスケート日本代表選手選考競技会、全日本ジュニアスピードスケート選手権大会とする。

### 【特記事項】

本選考基準において、協議による選考を定めている場合において意見の一致に至らなかった場合は、多数決の方法をもって決する。

1. ジュニアワールドカップ第 1 戦（11/24～25、500m～3000m・Ms・TS、ポーランド・トマショフマヅウイエツキ）

### 【選考年齢区分】

国際スケート連盟（以下、ISU）ルール 108 条 2 項

注）1999 年 7 月 1 日から 2003 年 6 月 30 日までに生まれた者

### 【派遣可能人数】

男子 6 名・女子 6 名（合計 12 名）

### 【選考基準】

対象競技会：第 25 回全日本スピードスケート距離別選手権大会

- （1）男女 500m、男女 1000m、男女 1500m、男女 3000m、男子 5000m の各距離で、年齢区分に該当する選手（以下、該当選手）の最上位者を選考する。ただし、男子 5000m においては、男子 3000m の ISU ジュニアワールドカップ第 1 戦参加標準記録を所持している選手を対象とする。
- （2）（1）で選考された者以外の派遣選手は、既に選考された選手の次の成績に位置する該当選手の中から、当該年度の JOC ナショナルコーチ、スピードスケート強化部長及びジュニア強化責任者の協議により、マススタート・チームスプリントの選手構成と、メダル獲得の可能

性を勘案して選考する。ただし、これらの選考は、強化委員会の出席者（選考の対象とされる選手と同所属や担当コーチなどといった関係者を除く）の3分の2以上の多数をもって変更することができる。

(3) (1)に該当する選手において、シニア日本代表に選出されジュニアワールドカップに出場しない場合は、これにより空いた出場枠についても(2)に従って選考する。

(4) 上記の選考基準で判断できない場合は、強化委員会の協議によって選考する。

#### 【その他】

- ・ ISU の参加要項に変更があった場合は、それに準じて選考基準を再検討して変更する場合がある。
- ・ ISU の設定する参加標準記録を所持している種目にのみ、出場することができる。
- ・ 選考された選手の中で、ISU の設定する参加標準記録を所持している選手は、エントリー枠に空きがあった場合には、所持している記録の良い選手から順に追加エントリーをする場合がある。

#### 【ISU ジュニアワールドカップ第1戦参加標準記録】

	女子	男子
500m	45,00	41,00
1000m	1.30,00	1.22,00
1500m	2.20,00	2.07,00
3000m	5.00,00	4.25,00

## 2. ジュニアワールドカップ最終戦 (2/9～10、500m～3000m・Ms・TP、イタリア・バゼルガディピネ)

#### 【選考年齢区分】

国際スケート連盟 (ISU) ルール 108 条 2 項

注) 1999 年 7 月 1 日から 2004 年 6 月 30 日までに生まれた者

#### 【派遣可能人数】

男子 5 名・女子 5 名 (合計 10 名)

#### 【選考基準】

対象競技会：第 86 回全日本スピードスケート選手権大会、第 42 回全日本スプリントスピードスケート選手権大会、JOC ジュニアオリンピックカップ大会第 42 回全日本ジュニアスピードスケート選手権大会

(1) 世界ジュニアスピードスケート選手権大会の選考基準に準ずる。

(2) 上記選考基準で判断できない場合は、強化委員会の協議によって選考する。

#### 【その他】

- ・ ISU の参加要項に変更があった場合は、それに準じて選考基準を再検討して変更する場合がある。
- ・ ISU の設定する参加標準記録を所持している種目にのみ、出場することができる。

- ・ 選考された選手の中で、ISU の設定する参加標準記録を所持している選手は、エントリー枠に空きがあった場合、所持している記録の良い選手から順にエントリーを行う場合がある。

【ISU ジュニアワールドカップ最終戦参加標準記録】

	女子	男子
500m	42,50	38,50
1000m	1.25,00	1.16,00
1500m	2.12,00	1.58,00
3000m	4.45,00	4.15,00

3. 世界ジュニアスピードスケート選手権大会（2/15～17、イタリア・バゼルガディピネ）

【選考年齢区分】

国際スケート連盟（ISU）ルール 108 条 2 項

注）1999 年 7 月 1 日から 2004 年 6 月 30 日までに生まれた者

【派遣可能人数】

男子 5 名・女子 5 名（合計 10 名）

【選考基準】

対象競技会：第 86 回全日本スピードスケート選手権大会、第 42 回全日本スプリントスピードスケート選手権大会、JOC ジュニアオリンピックカップ大会第 42 回全日本ジュニアスピードスケート選手権大会

（1） 選考年齢区分に該当する選手の中から、以下の①～⑤に従い選考する。

- ① 世界距離別スピードスケート選手権大会日本代表として選考された選手は、その選考基準を満たして選考された種目（マススタート、チームパシュート及びチームスプリントを除く）について、選考する。
- ② 男女 500m、男女 1000m、男女 1500m、女子 3000m、男子 5000mの各種目最上位の選手を選考する。ただし、①を満たして選手が選考された場合、その種目は、本号では選考しない。
- ③ チームパシュートの構成を考慮し、①および②を満たして選考された選手以外から、女子は 1500mと 3000m、男子は 1500mと 5000mのタイムの合計ポイント（ISU ルール第 265 条 3 項に従う）を算出し、その最上位の選手を選考する。
- ④ ②と③または、②に該当する選手が同一の場合（選考条件に複数該当する選手がいた場合は、残りの枠の範囲内で、当該年度の JOC ナショナルコーチ、スピードスケート強化部長及びジュニア強化責任者の協議により、チームパシュート・マススタートの構成とメダル獲得の可能性を勘案して総合的に選手を選考する。ただし、これらの選考は、強化委員会の出席者（選考の対象とされる選手と同所属や担当コーチなどといった関係者を除く）の 3 分の 2 以上の多数をもって変更することができる。

（2） 上記選考基準で判断できない場合は、強化委員会の協議によって選考する。

【その他】

- ・ ISU の参加要項に変更があった場合は、それに準じて選考基準を再検討して変更する場合がある。
- ・ ISU の設定する参加標準記録を所持している種目にのみ、出場することができる。なお、総合得点競技としての順位付けのためには、全ての距離に出場する必要がある。
- ・ 選考された選手の中で、ISU の設定する参加標準記録を所持している選手は、エントリー枠に空きがあった場合には、所持している記録の良い選手から順に追加エントリーをする場合がある。

【ISU 世界ジュニア参加標準記録】

	女子	男子
500m	42,50	38,50
1000m	1.25,00	1.16,00
1500m	2.12,00	1.58,00
3000m	4.45,00	
5000m		7.05,00 又は 4.05,00(3000m)